



高 志

第 3 4 号

令和8年2月27日
新潟市立高志
中等教育学校
PTA

できる人ができる時に
できる事を



PTA副会長
長谷川美香

日ごろから、高志中等教育学校PTAの活動に多大な御理解と御協力をいただき、大変ありがとうございます。本校PTAでは、令和6年度から組織や役割の大幅な見直し、「できる人ができる時にできる事を」協力いただくことで、参加しやすい、参加したくなる活動を目指してまいりました。令和7年度も多くのかたに御参加や御協力、御提言をいただいています。大変ありがとうございます。

昨年開催された新潟中央地区保護司会山潟分区の「社会を明るくする運動」ミニ集会において、運動の一環として行われた作文コンテスト優秀作品の発表と表彰がありました。今回、本校の生徒さんが受賞されました。本校は、保護司の担当エリアでいうと、新潟中央地区の山潟分区に当たります。

作文では、自分は中学生でアルバイトはできないが、欲しいゲームなどを買うために自分でお金を稼げたらいいのにと悩んだことがあること、SNS上で中学生でも簡単に稼げるなどという怪しい勧誘メッセージを

目にした経験があることが率直に述べられました。続いて、メッセージに乗ってしまつた高校生がいゆる闇バイトにかかわつたという報道に触れ、大人に相談して正しい情報を共有することや友達など関係づくりが大切であると考えたこと、そして一人一人ができることで社会は明るい方向へ進んでいけるとの力強いメッセージが述べられ、会場からは大きな拍手が送られました。

社会に変革を起こすとは、目の前にあるところからだと現役生に教えていただきました。変革ってこういうところからと目からうろこの時間でした。

また、中央区外からの通学だからと学校のある山潟地区について知ろうとしてこなかつた気がつきました。小学校区も中学校区も、会場である山潟地区コミュニティハウスを検索して初めて正しく認識したという私に、隣り合わせた小学校のかたが（本校の地域教育コーディネーターである）後藤さんにはいつもお世話になってるのですよと親しく声をかけてくださりました。自分の知らないところでどれほどのかたが本校のため、生徒たちのため校外を問わず力を尽くしてくださっているのか、校外からのお声をお聴きすることで実感しました。

できる人ができる時にできる事を、はまだまだたくさんあります。これからもぜひお力をお貸しください。よろしく願います。

更なるPTA活動の 発展に向けて



教頭 山田 篤

高志中等教育学校のPTAは熱く、そして頼りになる存在です。私が今年度、高志中等教育学校に赴任してきて感じたことです。6月に行われた側溝清掃では溝蓋や側溝の泥をあげる道具を保護者が持つてきて進んで活動を行ったり、土曜活用講座では講師の方の事前準備や片付けを手際よく行ったりしました。また、PTA講演会では保護者が企画運営や、講師の方と学校に連絡を取って日程調整や事前の会場準備の打合せなどを行い、講演会を大盛況に終わらせました。他にも学年PTAでは講演会や座談会を開いたり、進路相談会ではPTA活動の様子や、受検を考えている保護者・児童に自らの経験を話したりと様々な活動をしています。PTAの方には学校や子どもたちのために多くの活動を行ってもらい、心から感謝申し上げます。

昨今、PTA活動は時間の制約や、負担が大きいなご様な理由で、参加することに抵抗がある人が少なからずいます。確かに、昔と違って保護者の方の労働環境や生活環境が変わり、学校も時代とともに変化してきました。地域によっては、PTAの活動自体をなくす方向に進んでいる学校もあるそうです。もしPTAがなかったとしたら、どんな学校になるのでしょうか。学校と保護者との関係が希薄となり、保護者は学校へ足が向かなくなりそうです。また、学校の整備活動や学校行事、講演会では、保

護者の意見が反映されにくくなります。やはり、これらのことは子どもにとってプラスになりません。PTAは学校にとっても、保護者にとっても、そして子どもにとってもなくてはならない存在だと思います。PTAと学校が手と手を取り合つてこそ、子どもにより良い教育環境が与えられると思います。

会長のリーダーシップのもと、高志中等教育学校のPTA活動は活発に行われています。学年のPTA活動でも講師を招いて講演を行ったり、茶話会を行うことで保護者間の関係を深めたりと、素晴らしい活動ばかりです。もし、新たな活動のアイデアをお持ちの方がいましたら、ぜひPTAもしくは学校に連絡をもらえたら幸いです。そして、PTA活動に気軽に参加してほしいと思います。参加された方からは、学校の様子が分かり良かった、PTA活動を通して学校に足を運ぶ機会が増えたので身近な存在になった、などの意見ももらいました。ぜひ、子どものために保護者と教員と一緒にPTA活動をさらに盛り上げていきたいと思います。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



2学年

2学年学年行事
沖縄フィールドワークに向けて

2学年委員 芳賀 洋華

10月21日、2学年の学年行事として2月に行われる沖縄でのフィールドワークに向けて沖縄国際大学総合文化学部の藤波潔教授による講演会が開催されました。「沖縄の今と過去、そして未来」という演題のお話は、生徒たちにとっても我々保護者にとっても大変学びの多いものでした。

美しい自然や豊かな文化を持つ沖縄ではその魅力的な印象とは裏腹に、東アジアにおける大きな戦争の窓口になってしまった暗く苦しい過去があります。その影は現在もお色々な問題として残っているという事実をテレビ番組やニュースなどで何となくは知っているつもりではいましたが、今回詳しい史実や写真等を使ったお話をお聞きし、これはより身近で深刻な問題なのだと実感することができました。生徒たちにとって「平和」とは何なのかを考える良いきっかけになったと思います。

沖縄の人々は、古くからの風習を通し家族や地域のつながりを大切に、温かい気持ちのこもった独自の文化を持っています。それは、たくさんの方々の犠牲が出た戦争があった土地だからこそ、強く「平和」を望んで来た人々の想いの形なのではないでしょうか。決して過去の出来事だけでは無い戦争問題を知ること、**「平和」**を知り、その**「平和」**に向けてひとりひとりが意識し考え行動することがこれからの未来のためには大切なことだと感じました。

2月のフィールドワークでは現地で様々な物事に触れ、自分で気づきを感じる有意義な体験をたくさんしてきてほしいと思います。若い今、そのような体験をかけたがない友人たちとすることによって、自分たちが守りたいと思える素晴らしい**「平和」**な未来を自ら創り出す力を養ってきてくれると信じています。



4学年

4学年PTA講演会に参加して

4学年委員 内保 美穂

令和7年9月12日(金)、高志中等教育学校大会議室にて、4学年PTA講演会『怒る・褒める・世話「しすぎない」思春期の我が子との付き合い方』(アドラー心理学流) (講師:大倉智美先生) が開催されました。講演では、大倉先生のお話を拝聴するだけでなく、隣の方とペアで行うロールプレイや、振り返り・質疑応答を通じた先生との対話など、参加型のプログラムが盛り込まれ、充実した内容となりました。先生は冒頭から明るくフレンドリーに語りかけてくださり、「自分が思ったこと、感じたことに間違いはない」「存在はALL OK」といった言葉で参加者の心をほぐしてくださいました。そのおかげで、会場には自然と笑い声や活発な声があがり、和やかな雰囲気の中で講演が進行しました。

講演中、先生は参加者一人ひとりの思いを丁寧に受け止めながら、アドラー心理学に基づいた具体的なアドバイスをくださり、参加者は素直な気持ちで自分自身と向き合いながら、日々の子育てを振り返っていました。講演後、参加者はそれぞれに子育てのヒントを得て帰路につかれたようでした。

数々の心に響く言葉の中でも、私が特に印象に残ったのは、先生が閉じられていない〇の絵を描きながら語られた**「輪」**に欠けた部分があると、そこばかりが気になるが、満ちている部分は必ずある」というお話でした。この言葉を受け、私は子育ての中で、**「ついでなもの、できないところ」**にばかり目を向け、**「できていないところ」**を認める機会が少なかったことに、ふと気づかされました。

短い時間ではありましたが、アドラー心理学流の子育ての考え方を、楽しく、そしてわかりやすくご講演くださった大倉先生に心より感謝申し上げます。また、お忙しい中ご参加くださった保護者の皆様、そして準備・設営・配信等にご尽力いただいた内藤先生をはじめ高志中等教育学校の先生方にも、深く御礼申し上げます。



5学年

後悔のない時間を

5学年委員 佐藤 晃子

令和7年9月30日、5学年の進学講演会は河合塾の福島和紗様をお招きし、新課程となった大学入試の入試制度や、入試に向けた準備、心構えについてご講話を賜りました。「共通テストまであと474日(9/30現在)、1教科にかけられる時間はわずか」というお話や、講師の先生が高校時代に計画的な学習を意識せず苦労した経験等をお話しくださり、「一刻も早く合格を意識した学習をスタートして欲しい」との言葉に大変説得力がありました。



特に現役合格する生徒の共通点として「学習計画を立て、日々の勉強(復習)をしていること」が挙げられていたのが印象的でした。学習のサイクルを確立し、苦手分野を作らない事が鍵だそうです。文系・理系それぞれで力を入れるべき教科も異なり、自分の進路に応じた戦略が必要だと感じました。

大学入試の形態は年々変化しており、我々が受験生だった頃とは随分と趣きが違うようです。大学入試の種類や共通テストの特徴、模試の活用法など、今回のお話で具体的な情報を多く得ることができました。

子供達が計画的かつ効率的に学習を進める為には、保護者が生活習慣をサポートする事も重要です。将来のビジョンを定め大学受験合格を目指しながら、それを人生の「通過点」だと捉えるにはご家庭での対話が不可欠であると思います。

残り少ない彼らの子供時代を充実したものにす為に、我々保護者も時間の使い方を一緒に考える必要があるのではないのでしょうか。後悔のない時間を過ごす為に、この講演会がご家庭での豊かなコミュニケーションの一助になれば幸いです。

貴重なお時間をくださった講師の先生、学校教職員の皆様、忙しい中駆けつけてくださった保護者の皆様に改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

講演会アンケート 保護者の声

昨年10月28日(火)、話すこと、聞くこと、右手が不自由な河村武明さんを講師に「人生の中に不可能なことは意外と少ないものなんです」と題し開催しました。御参加の保護者の皆様からの声を紹介します。

- 1年生 母 感謝して生きるのは素敵だと思いました。
- 6年生 父 普段何事もなく過ごせていることがとても幸せなことだということを感じさせてもらった。
- 6年生 母 生徒が自ら出会うことがなかなか出来ない方の話に触れるチャンスになるような講演が良いと思います。きっと、それは後々人生の役に立って行くと思います。
- 6年生 母 正直言って、眠気に襲われるかなと思っていましたが、全くそんな事もなく途中目頭が熱くなるような場面もあり貴重なお話が聞けて本当に良かったと思いました。
- 5年生 母 素晴らしい貴重な講演だったと思います。絶望のどん底から立ち上がり、今まで絵を描き続け、世のため人のためにと700回もの講演(高志がその記念すべき700回目で感動!)でした。講演が終わってからは感謝とチャレンジを意識しています。生徒の皆さんと一緒に聴く事ができて本当に良かったです。会場が感謝の波動に包まれていたように感じました。参加して本当に良かったです。ありがとうございました。
- 5年生 母 今回のようにご自分の経験・体験から子供や保護者に向けてメッセージ性のあるような講演会を希望致します。
- 1年生 母 前向きになれて元気がもらえる講演が聞けて良かったです。ありがとうございました。



土曜活用講座ボランティア アンケート

ボランティアによる運営に移行して2年目となった土曜活用講座。今年度参加された皆様に感想やメッセージをお聞きしました。

1. ボランティアに参加しての感想

- 2年生 母** 毎回、参加生徒さんの様子を見る事ができて、学ぶ姿勢に感心しております。そして、自身も様々な講座に参加させてもらい、楽しんでおります。
- 2年生 母** 土曜活用講座を受けるきっかけになり、講座の話も面白くて良かった。また、他学年の保護者と話をすることができたこともとても良かった。
- 2年生 母** 生徒にとってプラスになるようなさまざまな分野の話が聞けるという貴重な体験を得られるとともに、地域教育コーディネーターの後藤さんともお話しできて良い機会になったと思います。
- 2年生 母** ボランティアの参加者の多い日、少ない日があるため、その回の講座数に合わせて適切な人数が集まると良いと感じました。

2. 生徒や保護者の皆様に伝えたいこと

- 2年生 母** 土曜活用講座は、1人で受けている生徒さんもたくさんいるので、1人だから参加しにくいことはないよ。将来のために積極的に参加したほうが良い。と生徒さんに伝えたい。
- 1年生 父** 聴講することにより、小さな発見や気づきがあるかも。
- 2年生 母** 専門分野に進まないといけない話を聞けたり、興味ない分野の話聞いて実は自分の生活にかかわりが深いことに気づけたりといった、とても良い経験ができると思います。土活の良さはおそらく大人のほうが分かっているのでは。生徒の参加が少なく“もったいないなあ”とみえています。車での来校もできるし、ぜひ親子で土活利用がもっと増えたらいいのになと思います。

保護者の声

今回もさまざまな声をお寄せいただきありがとうございます。紙面の限りご紹介いたします。

●「総務だより」へのご意見・ご感想

- 6年生 母** 開催された他学年の学年行事がわかるので良い。
- 1年生 母** 大変申し訳ないですが、なくて良いです。総務だよりをみなくても、幼稚園、保育園、小学校、兄弟関係を経て、ほとんどの方が、子供をとりまく学校活動、美化活動、地域交流をして下さっていると理解しています。総務だよりがPTA役員の負担になっていないことを願います。
- 4年生 母** 配信、紙のどちらか一方で良いと思います。

●高志中等教育学校の教育活動・PTA活動全般へのご意見

- 1年生 母** これから冬になるので、飛び地駐車場が使えると有り難いです。
- 2年生 母** こどもが楽しそうに学校に行っています。ありがとうございます。学校行事に関心はあるが、遠くて、駐車場も近くないので、参加に迷う。
- 1年生 母** 駐車場が使えると助かります。
- 5年生 母** PTA学年行事の時間帯が仕事の都合で参加できないので、可能であれば今後も動画で見る機会を設けていただきたいと思います。

総務委員会より

- 校地内車乗り入れ及び駐車場について

第2体育館脇の駐車場は職員及び給食提供者用の駐車場であり、保護者用ではないことをご承知いただきたいと思います。

数年前までは学校のご厚意により送迎時に当該駐車場を利用させていただいておりましたが、保護者車両による学校周辺の渋滞や校地内での接触事故の発生により、数年前に校地乗り入れ禁止となりました。そのような中でも、学校のご配慮により、入学式・卒業式には当該学年の保護者は自家用車での来校が認められています。他の中学校・高校では、これらの式典であっても自家用車での来校ができない場合が多くあります。

また、校地乗り入れ禁止となっていたところを一昨年にはPTAが学校と協議を重ね、学年PTA行事の際に飛び地駐車場を開放していただけるようになりました。しかし、残念なことに現在も校地内や校門付近での停車・駐車が見受けられます。保護者全体でマナーを守ることができなければ、常時飛び地駐車場開放などの駐車場利用拡大は困難であると認識しています。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。
- 動画配信については、今後も学校と相談し、可能な限り実施していきます。

編集後記

今回の広報誌では、PTAの新たな取り組みである講演会や、総務だよりなどに対する皆様の声を紹介してまいりました。PTAのスローガンである「できる人が、できる時に、できる事を」が皆様の中に浸透してきているように思えます。今後も学校と連携しながら、より良いPTA活動を進めてまいりますので、ご協力よろしく申し上げます。

編集総務委員 (五十音順)

宮 土肥 幸枝 長谷川 美香
貴美子